

## 成果の説明書

(氏名)バフトン ニコラス	(学部)経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>両学部の一貫英語カリキュラムの管理、及びコース責任担当である (GE III、IV のコースリーダーおよび BE III、IV Upper-intermediate のレベルコーディネーター)それぞれの非常勤講師へのサポートを行った。</p> <p>1. Covid 19 により、GE III、IV Advanced Level のシラバスと BE III、IV Upper-intermediate のシラバスを書き直して、オンライン教育により適したものにした。</p> <p>2. Zoom, Teams, ポータルシステム、オックスフォードの Q : Skills for Success オンラインの学生と教師のウェブサイト、および Common Speaking Test (CST) を改訂した。</p> <p>3. IC レコーダーを使用して学生の CST を記録する標準的な方法を、Zoom プラットフォームと互換性のある方法に置き換える方法を考案した。</p> <p>4.石渡先生とオンライン指導のための緊急教師会議を共催。</p> <p>5.オックスフォードの Q : スキルオンライン練習ウェブサイト、Zoom, Teams、Google Forms,および CST を管理するためのオンライン方法の操作と使用について、希望する非常勤講師に対し1対1のライブオンラインでの指導を行った。</p> <p>6. BE III、IV upper-intermediate 教師向けのサポート資料を作成し配布した。</p> <p>7.オンライン評価とテストの実装方法を非常勤講師に説明した。</p> <p>8.英語部会の他のメンバーと一緒に、それぞれのレベルのクラスでのレッスンの均一性を確保するためのガイドラインを作成した。</p> <p>クリティカルシンキング(批判的思考)1と2</p> <p>Covid 19 のために、批判的思考 (CT) のシラバスとコースの内容を改訂して、オンライン学習により適したものにした。インタラクティブな学習 (グループワーク、ディベート、ディスカッション) から、より独立した探求型学習アプローチへの変更には、コース資料の大幅な書き直しが必要であった。</p>	

## 2 その他の事項

オンラインでクリティカルシンキングを教えることから学んだ教訓。  
オンラインで行うクリティカルシンキングコースの資料の書き直しは、レッスンごとに6～20時間かかった。学生は各トピックについて6～10ページの資料を受け取ることとなり、これはコースに必要な英語レベルのある学生には利益をもたらしたが、適切な英語能力を持たない学生にとっては大きな負担であった。そのため、現在このコビッド時代に合うようなこれまでとは違った教授法を研究している。

## 3 次年度以降の計画・抱負

批判的思考は、伝統的な読書や練習問題では簡単に学ぶことは出来ない。また、独学で学ぶ科目でもない。学習を成功させるには、グループワーク、ディスカッション、ディベート、内省を必要とするインタラクティブなアプローチが必要である。2020年に開発した教材を改善・書き直して、2021年のハイブリッドクラスに適したものにすつもりである。